

上小地方事務所からの施策提案

地域の課題と、めざす方向

上小地域ビジョン

【1 環境分野】

- ①自然エネルギーの活用 ②環境保全の推進

【2 産業分野】

- ①農業の振興 ②観光の振興

【3 医療・福祉・子育て分野】

- ①発達障害者の支援 ②子育ての支援

※地域医療体制の充実

現在取組を進めている上小地域医療再生計画の着実な実施を図るとともに、計画終了後を見据え、市町村と県が協働して検証及び検討していく。

【4 安全・安心分野】

- ①危機管理への対応 ②社会基盤の整備

しあわせ信州創造プラン(地域編)

【1 豊かな自然環境の保全と活用プロジェクト】

- 自然エネルギーの活用 ○豊かな森林の整備と保全
○野生鳥獣被害対策の推進

【2 特色ある産業の発展と連携プロジェクト】

- 工業・商業の活性化 ○農業の振興 ○観光の振興
○地域資源の洗練・融合による産業の推進

【3 医療・福祉・子育てプロジェクト】

- 地域医療体制の強化 ○高齢者・障害者福祉サービスの充実 ○子育ての支援

【4 安全・安心な地域社会づくりプロジェクト】

- 未来にわたって持続できる安全・安心な地域づくり
○地域内外の連携と交流の推進

県としての課題
解決への一歩

平成 27 年度に向けて提案する施策

1 大河ドラマ「真田丸」による観光誘客～放映を契機とした全県的な誘客と地域の観光支援～

- ・大河ドラマを契機とした新たな観光誘客のためキャンペーンを実施
- ・観光客の受け入れ態勢整備に対し支援を行い、持続的な誘客につなげる
- ・地域の観光資源を活かした消費額増への取組と住民意識の醸成のための支援

2 森林(もり)の里親制度の拡充～木質材利用の促進～

これまで森林整備に対する企業支援を期待しての森林の里親制度に、木質バイオマスエネルギーなど、木材を利用する企業等も里親に位置付け、木材の利用による森林整備の促進と併せて温室効果ガスの排出削減や松くい虫被害材等未利用材の利活用を図る。

(上小地域ビジョン、しあわせ信州創造プラン地域編に直接記載はないものの、提案する施策)

3 人材不足業種の若者確保策～若者のUターン、定住促進を目指して～

土木・建築、工学、福祉などの分野を学ぶ学生に対し学費を貸与し、卒業後、県内の人材不足業種・職種に就職した場合には返還の一部免除を行って、県内企業への就職に目を向けてもらうきっかけとする。

大河ドラマ「真田丸」による観光誘客

～放映を契機とした全県的な誘客と地域の観光支援～

上小地方事務所

1 現状と課題

- 管内の平成25年の観光地利用者数は、631万人(対前年比96.2%)、消費額は166億円(対前年比97.0%)で前年と比べ減少しており、伸び悩みがみられる。
- 平成26年度末には、北陸新幹線(長野経由)が金沢まで延伸され、交流人口の増が見込まれる一方、通過型観光地への懸念や2次交通の整備などの課題がある。
- 平成28年のNHK大河ドラマ「真田丸」放映を契機とした経済効果が見込まれ、効果的な誘客策と、一過性に終わらない魅力ある観光地づくりが急務である。

【参考】大河ドラマ放映による地域経済への波及効果

| 大河ドラマの名称 | 効果額 | 対象 | 備考 |
|------------|-------|-----|------------------|
| 風林火山 (H19) | 109億円 | 長野県 | H20.2月 日銀松本支店試算 |
| 天地人 (H21) | 204億円 | 新潟県 | H20.12月 日銀新潟支店試算 |
| 龍馬伝 (H22) | 535億円 | 高知県 | H23.2月 日銀高知支店試算 |
| 八重の桜 (H25) | 113億円 | 福島県 | H24.7月 日銀福島支店試算 |

2 施策

- ・大河ドラマを契機とした新たな観光誘客のためキャンペーンを実施
- ・観光客の受入れ態勢整備に対し支援を行い、持続的な誘客につなげる。
- ・地域の観光資源を活かした消費額増への取組と住民意識の醸成のための支援

実施主体:観光部

○「真田丸」キャンペーンの実施

- ・信州キャンペーンの重点事業として、全県的なPRを実施する。
(「戦国」「城」などをキーワードに全県への波及、県内各地への周遊を促す。)
- ・ポスター・パンフレット等の作成、WEBサイト運営による情報発信及び誘客促進
- ・「真田丸」の放映に合わせて、長野県観光を全国的に情報発信するためのPRイベント等の実施
交通事業者や大型小売店等の協力を得ながら、キャンペーン活動やマスコミ訪問等を展開
場所:関東圏、中京圏、関西圏の3大都市圏
北陸圏及び札幌、福岡
幸村ゆかりの地:和歌山、宮城、秋田等

○大河ドラマ館設置・運営に対する支援

○「真田丸」放映に伴う観光客の受入れ態勢整備に対する支援

- ・真田地域のトイレ整備に対する支援
観光地トイレ整備推進事業補助金の後継制度創設による支援

対象事業者:トイレ設置者である市町村
対象経費:新設・改築・改修工事に係る100万円以上の工事費
補助率:2分の1以内
条件:県産材の使用とバリアフリー化

関連部局:建設部

- ・上田城跡公園周辺の渋滞・駐車場対策、案内標識等の施設整備に対する支援
社会資本整備総合交付金(国庫)を活用

森林(もり)の里親制度の拡充

～ 木質材利用の促進 ～

上小地方事務所

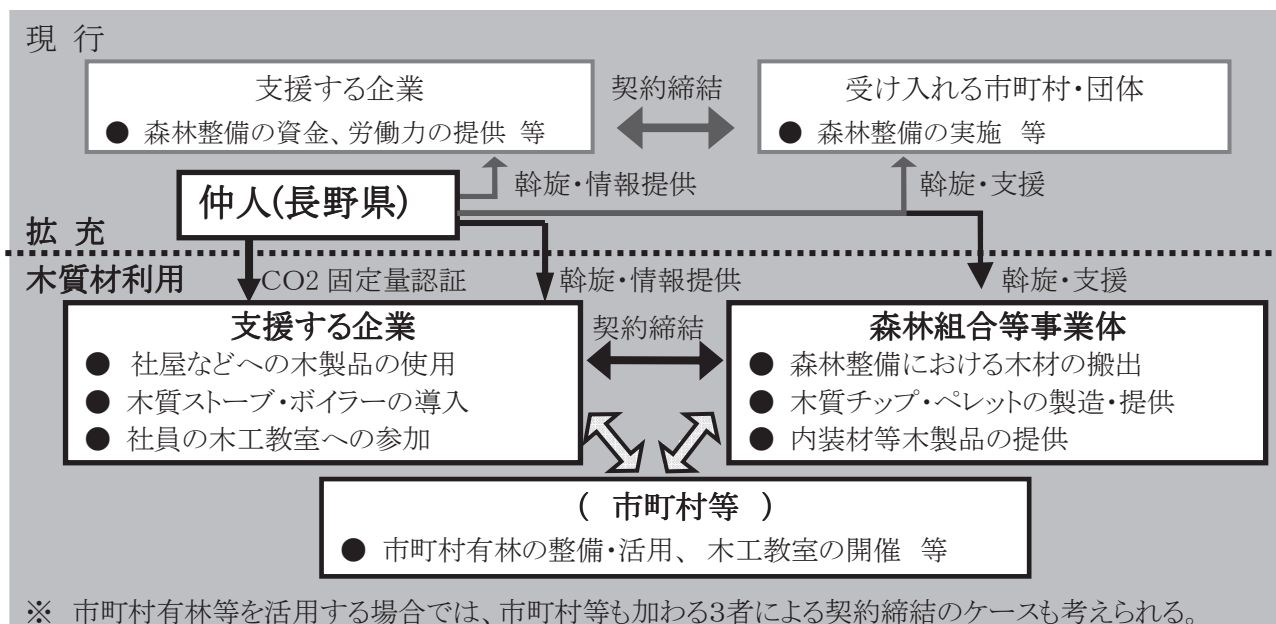
1 現状と課題

- 県下最大の松くい虫被害地域である上小管内では、被害材の処理や計画的な樹種転換を推進する上で松材の利活用を図る事が大きな課題である。
- 松材等の利活用を図るため、これまでの公共施設利用に加え民間企業の木質材利用への働きかけが必要である。

2 事業計画

(1) 平成 27 年度

- ・「木質材利用」について、森林の里親制度を拡充



- ・関係機関に事業PRの実施、企業に対し「松くい虫対策の一環としての松材利用」への意向調査の実施
- ・意向調査結果に基づき、社屋の松材等利用や木質ボイラー等導入への幹旋及び企業側の要望等の把握
- ・森林の里親契約への幹旋、締結の支援

(2) 平成 28 年度以降

- 平成 28 年度； 企業等のボイラー導入に対するコスト比較検証の支援及びボイラー等のスタンダードモデルの検討
- 平成 29 年度； 企業等の木質バイオマスボイラー導入に対する経費支援
- 平成 30 年度； 森林組合等へのチップパー導入に対する経費支援

3 予算等

- 平成 27 年度 0 円
 - 平成 28 年度 未定
- 熱需要把握・重油とのコスト比較等に伴う調査経費等の支援 (補助金)
- 木質バイオマスボイラー等のスタンダードモデルの検討 (委託費)

4 効果

アカマツ樹種転換事業が進み、松くい虫被害の抑制が期待できる。

- ※ 木質チップボイラー1 台の導入で、約1ha の樹種転換が可能。

人材不足業種の若者確保策 ～若者のUターン、定住促進を目指して～

上小地方事務所

1 現状と課題

- 地域経済は回復基調にあり、有効求人倍率も徐々に増加している状況の中、今後は、人材の確保が困難となることが予測される。
- 職業別の求人・求職の状況を見ると、特に「建設」、「福祉」及び「製造」などの職業において多くの求人があるにも関わらず、それらの職を求める者の数が少なく、人材不足の傾向が顕著に現れている。
- 少子化と人口の流出による生産年齢人口の減により、地域経済の担い手がますます不足し、地域の活力が著しく低下する恐れがある。
- 進学によりいったん県外に出た者でも、就職時には県内に戻ってきてもらうための動機付けをし、人口流出の流れに歯止めをかける必要がある。

2 施策

県内就職にインセンティブを与える奨学金制度の創設

土木・建築、工学、福祉などの分野を学ぶ学生に対し学費を貸与し、卒業後県内の人材不足業種・職種（当面は「建設業」、「福祉」及び「製造業」の技術職・専門職を想定）に就職した場合には返還の一部免除を行う。

奨学金の原資は、県費のほか趣旨に賛同する県内企業等からの寄付金を募ることとし、学生の就職活動時期には賛同企業の就職情報を送付するとともに、当該企業に就職した場合は返還免除額の上乗せを行い、県内企業への就職に目を向けてもらうきっかけとする。

貸与額：月 30,000 円

3 事業費（平成 27 年度）

18,000 千円【県費 9,000 千円 寄付金 9,000 千円】
(30,000 円 × 12 ヶ月 × 50 人 = 18,000 千円)

※ 企業からの寄付金は、1 口 10 万円で 90 口を目標

4 効果

Uターン志向者、県内企業への就職者の増
(貸与者の 8 割の県内就職を目指す)

地域経済の活力の回復 若者の地元への定着

人材不足の解消

人口流出の歯止め